

内視鏡的逆行性膵胆管造影(ERCP)を受けられる患者さんへ

患者氏名:		主治医:	受け持ち看護師:
月日	当日	翌日	
項目			
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・絶飲食、安静度を守ることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・症状がある時は看護師へ伝えることができる 	
点滴・内服・処置	<ul style="list-style-type: none"> ・点滴: 朝から開始します ・内服: 起床時に少量の水で内服します (検査当日は食べたり飲んだりできません。低血糖予防のため血糖降下剤は内服しません) ・更衣: 点滴をする前に検査着に着替えます ・その他: 貴金属、アクセサリ、義歯は外します 	<ul style="list-style-type: none"> ・医師が朝の採血結果や症状次第で点滴を継続するか、食事や飲水、内服をしてよいか、判断します 	
検査	<ul style="list-style-type: none"> ・検査終了4時間後に採血があります 	<ul style="list-style-type: none"> ・早朝に採血があります 	
活動・安静度	<ul style="list-style-type: none"> ・検査中に鎮静剤を使用するので、病室に帰って来ても目が覚めるまではベッド上で安静にします。検査後は鎮静剤の影響でふらつくことがあります。転倒予防のため、初めて歩く時は必ず看護師が付き添いますので、ナースコールでお知らせ下さい 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に制限はありません 	
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・検査前日の夕食後以降から医師の指示があるまでは食べたり飲んだりできません 		
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・シャワー、入浴はできません 	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じて全身清拭、またはシャワーが可能です 	
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・検査中に鎮静剤を使用するので、病室に帰って来ても目が覚めるまではベッド上で安静にします。検査後は鎮静剤の影響でふらつくことがあります。転倒予防のため、初めて歩く時は必ず看護師が付き添いますので、ナースコールでお知らせ下さい ・検査後、膵炎などの合併症が起こった場合は、尿量を測定することがあります。その際は看護師が測定方法を説明します 	<ul style="list-style-type: none"> ・状態によっては尿量測定を続けてもらうことがあります 	
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	<ul style="list-style-type: none"> ・寒気がする、熱っぽい、お腹や背中が痛い、吐き気がする等の症状がある時にはすぐにお知らせください ・検査後、鼻から細い管を出すことがあります。管は抜けないようにテープで固定しますが、抜けやすいので、ひっぱらないよう注意して下さい。 		

この経過表は検査前後のおおよその経過をお知らせするものです。
諸所の理由で経過通りにいかない場合もありますことをご了承下さい。